

年月日	主要事項
明治31年 (1898)	5. 6 名古屋電気鉄道(株)によって市内電車笹島・県庁前(久屋町)間開通
大正11年 (1922)	8. 1 名古屋電気鉄道(株)から市内線を買収し、市営交通事業開始 名古屋市電気局創設
昭和 5年 (1930)	2. 1 市営バス営業開始
12年 (1937)	3. 1 民営市内電車買収完了
15年 (1940)	2. 1 民営バス市内線買収完了
18年 (1943)	5. 10 無軌条電車(トロリーバス)営業開始
20年 (1945)	10. 2 名古屋市電気局を名古屋市交通局と改称
25年 (1950)	8. 1 貸切バス営業開始
26年 (1951)	1. 16 無軌条電車(トロリーバス)営業廃止 10. 3 市営定期観光バス営業開始 10. 25 バスのワンマン運転開始
27年 (1952)	10. 1 地方公営企業法施行
29年 (1954)	8. 31 地下鉄建設起工式
32年 (1957)	11. 15 地下鉄1号線名古屋・栄町間(2.4km)開通
34年 (1959)	9. 26 伊勢湾台風襲来被害甚大
35年 (1960)	6. 15 地下鉄1号線栄町・池下間(3.6km)開通
37年 (1962)	10. 14 市営定期観光バス営業廃止
38年 (1963)	4. 1 地下鉄1号線池下・東山公園間(2.5km)開通
40年 (1965)	3. 11 名古屋市交通事業の5ヵ年計画を発表 10. 15 地下鉄2号線市役所・栄町間(1.3km)開通
41年 (1966)	2. 20 5ヵ年計画に基づくワンマン運転開始 路面電車1系統、バス4系統 6. 1 地下鉄栄町駅を栄に、伏見町駅を伏見に駅名変更
42年 (1967)	3. 3 栄バスターミナル設置 3. 25 第1次財政再建計画策定 3. 30 地下鉄1号線東山公園・星ヶ丘間(1.1km)及び2号線栄・金山間(3.0km)開通
44年 (1969)	4. 1 地下鉄1号線名古屋・中村公園間(3.5km)及び星ヶ丘・藤ヶ丘間(4.4km)開通 5. 1 地下鉄1号線を東山線に、2号線を名城線に路線名変更
45年 (1970)	6. 1 バス2区系統ワンマン運転開始 12. 10 地下鉄東山線上社駅新設
46年 (1971)	1. 10 バスレーン設置開始 3. 29 地下鉄名城線金山・名古屋港間(6.0km)開通 12. 20 地下鉄名城線市役所・大曾根間(4.6km)開通
47年 (1972)	3. 1 都市交通審議会答申「名古屋圏における旅客輸送力の整備増強に関する基本的計画」
48年 (1973)	4. 1 バス均一制料金採用 8. 1 地方公営交通事業の経営の健全化の促進に関する法律施行 9. 15 70歳以上の人に対し市営交通料金を無料化 バスに優先席設置 10. 5 市営交通料金無料化を65歳まで拡大
49年 (1974)	2. 8 第2次再建計画策定 3. 30 地下鉄4号線金山・新瑞橋間(5.7km)開通 3. 31 路面電車金山橋・市立大学病院間(3.7km)、大久手 安田車庫前間(1.0km)及び矢田町四丁目・昭和町間(15.1km)廃止をもって全廃
50年 (1975)	2. 4 名古屋バスターミナル開設 6. 25 名古屋駅冷房開始(初の地下鉄駅冷房) 12. 29 地下鉄に優先席設置 12. 31 初もうでのための地下鉄全線終夜運転開始

年月日	主要事項
51年 (1976)	3. 21 点字案内板・点字ブロック設置開始(今池駅) 4. 1 バス全車両ワンマン運転化 9. 20 地下鉄関係定期券磁気化、定期券発行機による発行 11. 1 地下鉄普通乗車券磁気化 11. 29 地下鉄自動改札機導入開始 12. 1 東山線終車30分延長
52年 (1977)	3. 18 鶴舞線伏見・八事間(8.0km)開通 12. 20 名古屋市基本構想議決
53年 (1978)	8. 15 名城線・4号線終車30分延長 10. 1 鶴舞線八事・赤池間(5.4km)開通
54年 (1979)	3. 29 地下鉄自動改札機設置全駅完了 5. 29 「名古屋市総合交通計画調査研究報告書」において基幹バス構想公表 7. 29 地下鉄鶴舞線・名鉄豊田線相互直通運転開始
55年 (1980)	1. 4 名古屋市基本計画公表 4. 17 名古屋市基幹バス調査委員会設置 7. 1 東山線5000形冷暖房車両の導入 7. 28 名古屋市バス路線総合整備計画協議会設置
56年 (1981)	2. 14 名古屋市交通問題調査会設置 3. 30 バスロケーションシステム設置 11. 1 第1回バス・地下鉄の日 11. 27 鶴舞線浄心・伏見間(2.9km)開通 12. 23 名古屋市交通問題調査会第1次答申
57年 (1982)	3. 28 基幹バス第1号東郊線で運行開始 9. 21 東山線中村公園・高畑間(3.1km)開通 11. 1 市バス・地下鉄テレホンセンター開設
58年 (1983)	10. 26 名古屋市交通問題調査会第2次答申
59年 (1984)	4. 1 営業本部制を創設 5. 7 名古屋市交通問題調査会第1次答申に基づく市バス路線再編成 9. 6 鶴舞線庄内緑地公園・浄心間(2.7km)開通
60年 (1985)	4. 1 地下鉄駅構内全面禁煙実施 4. 30 基幹バス第2号新出来町線で運行開始(全国初の中央走行方式)
61年 (1986)	4. 1 制服の制式 ステンカラー型から背広型に変更 8. 14 名古屋市基幹公共交通網調査委員会設置
62年 (1987)	2. 19 名古屋市交通問題調査会第3次答申 3. 23 世界デザイン博にむけて「世界デザイン博PR用市バス塗装デザイン」「市バス停留所標識デザイン」「地下鉄出入口上屋デザイン」を一般公募
63年 (1988)	2. 5 名古屋市基幹公共交通網調査委員会答申 3. 1 プリペイドカード「リリーカード」の発売(使用開始は4月1日から) 3. 31 第2次再建計画完了 8. 30 名古屋市新基本計画公表

年月日		主要事項
平成元年 (1989)	4. 1	技術本部制の創設
	6. 10	名城線の2000形冷暖房車両の導入及び輸送力増強の実施（6両組成化）
	7. 4	世界デザイン博覧会関連7駅竣工式
	7. 9	金山総合駅供用開始
	7. 15	市制百周年記念事業世界デザイン博覧会開催（～11.26）
	9. 10	桜通線中村区役所・今池間（6.3km）開通 名城線久屋大通駅新設 地下鉄回数券カードの発売開始
10. 2	バスカードシステムのテスト実施開始（基幹1号系統でのリリーカード使用）	
平成 2年 (1990)	12. 5	深夜バス運行開始
平成 3年 (1991)	4. 1	自動車工場において自動車整備事業を開始
	10. 1	バスダイヤ改正の実施（幹線系統の増加等） カードシステムの本格実施
平成 4年 (1992)	1. 10	運輸政策審議会答申「名古屋圏における高速鉄道を中心とする交通網の整備に関する基本計画について」
	3. 27	低公害バス（ディーゼル・電気ハイブリッドバス）の運行開始
	4. 1	バスのダイヤ（日曜・休日）改正の実施
	11. 20	リフト付バス運行開始
12. 1	地下鉄池下駅構内にて交通局直営店舗第1号店「DO!池下」開店	
平成 5年 (1993)	4. 1	鶴舞線3050形車両の導入及び輸送力増強の実施（6両組成化）
	8. 12	鶴舞線上小田井・庄内緑地公園間（1.4km）開通、名鉄犬山線と相互直通運転開始
	9. 27	桜通線車両の輸送力増強の実施（5両組成化）
	10. 1	地下鉄で閑散時間帯における改札口職員の無配置の実施
	10. 7	交通局職員による「違法駐車等監視活動」専従班の発足
平成 6年 (1994)	1. 20	低公害バス（ディーゼル・蓄圧式ハイブリッドバス）の運行開始
	2. 16	地下鉄桜通線でワンマン運転開始 桜通線全線に電車緊急停止装置設置
	3. 30	地下鉄桜通線今池・野並間（8.6km）開通 地下鉄鶴舞線上小田井駅における折り返し運転開始
	5. 1	地下鉄駅改札内トイレへのトイレトペーパーの設置
	6. 5	観覧券付き乗車券「いこまいきっぷ」発売開始
7. 1	制服の変更	
10. 15	アイドリング・ストップアンドスタートシステムバスの運行開始	
平成 7年 (1995)	1. 17	低公害バス（圧縮天然ガスバス）の運行開始
	2. 3	節分バスの運行開始
	3. 24	花見バス（4系統）の運行開始
	7. 1	市バス・地下鉄テレホンセンターの充実（営業時間の延長・新電話番号等）

年月日		主要事項
平成 8年 (1996)	3. 27	市営交通資料センターの開設
	4. 1	なごや環境きっぷの発売（毎月1～8日）開始（～平成18年3月8日）
	4. 8	環境保全の日（以後、毎月8日） 鶴舞線平日（昼間）の増発開始
9. 2	東山線平日（夜間）の増発開始	
平成 9年 (1997)	1. 31	名古屋市交通問題調査会第4次答申
	3. 14	超低床ノンステップバスの運行開始
	4. 5	鶴舞線土曜・休日 併用ダイヤの実施
	10. 1	耳や言葉が不自由な方のためにファックスサービス開始（市バス・地下鉄案内所など4カ所）
平成10年 (1998)	3. 12	アイドリング・ストップアンドスタートシステムバス本格導入
	5. 6	ストアードフェアシステム導入に伴い新カード「ユリカ」発売・使用開始 名古屋市交通問題調査会第4次答申に基づく市バス路線再編成
	10. 1	都心ループバス運行開始 定期券乗降確認システム導入
平成11年 (1999)	3. 1	名古屋市交通局ホームページ開設
	4. 1	地下鉄全駅へ分別ごみ箱を設置
	12. 7	名城線・4号線にLED案内表示器設置
平成12年 (2000)	1. 19	地下鉄4号線大曾根・砂田橋間（1.7km）開通 地下鉄駅券売機に「ユリカ」積み増し機能を設置
	3. 18	なごや城ループバス運行開始
	4. 12	地下鉄車両冷房化率100%を達成
	6. 1	市電・地下鉄保存館（愛称：レトロでんしゃ館）開所
	6. 30	CNG（圧縮天然ガス）ノンステップバスの運行開始
	9. 11	東海豪雨の被害により、市バス・地下鉄の一部区間運休（地下鉄は13日全線復旧、バスは17日全線復旧）
9. 18	地下鉄車両外側ステッカー広告の開始	
12. 16	地下鉄車内の混雑時における携帯電話の電源を切るよう自粛の呼びかけ強化（市バス車内については、H13.3.23より実施）	
平成13年 (2001)	3. 23	ゆとりーとライン（ガイドウェイバスシステム志段味線）運行開始
	7. 2	ラッピング市バスの運行開始
	12. 22	ラッピング地下鉄の運行開始
平成14年 (2002)	3. 15	インターネットによる定期券予約購入申込の受付開始
	3. 25	交通局ホームページに地下鉄駅構内案内図を掲載
	4. 1	公立学校週5日制の実施などに伴い、バスのダイヤ改正（土曜日を中心に運行回数見直し） 携帯電話への市バス・地下鉄時刻表の提供
	4. 6	東山線土曜ダイヤを日曜・休日ダイヤに統合
	8. 1	市営交通事業80周年記念式典・シンポジウム
	9. 30	東山線に女性専用車両を試行導入（始発～9時）
10. 12	栄バスターミナル（オアシス21のりば）開設	

年月日		主要事項
平成15年 (2003)	2. 7	名城線全駅に電車緊急停止装置設置
	3. 6	鶴舞線全駅に電車緊急停止装置設置
	3.18	市営交通事業中期経営健全化計画の策定
	3.27	上飯田連絡線の完成により、地下鉄上飯田線 上飯田・平安通間(0.8km) 開通、同時に名 鉄小牧線と相互直通運転の開始 鶴舞線の終車延長、カードによる共通利用シ ステム「トランパス」導入
	7. 1	バスターミナル、バス停留所の全面禁煙化
12.13	地下鉄4号線砂田橋・名古屋大学間(4.5km) 開通	
平成16年 (2004)	3. 9	地下鉄4号線全駅に電車緊急停止装置設置
	3.27	東山線の保安装置をATSからATCに変更 東山線全駅にLED案内表示器設置 東山線全駅に電車緊急停止装置設置
	6. 1	「ループ金山」オープン
	10. 6	地下鉄4号線名古屋大学・新瑞橋間(5.6km) 開通 名城線・4号線の環状部を名城線に、金山・ 名古屋港間を名港線に路線名変更 地下鉄藤ヶ丘を藤が丘に、瑞穂運動場を瑞穂 運動場西に駅名変更 名城線で環状運転開始 地域巡回系統運行開始 バス運行総合情報システム稼働
	11. 1	定期利用サービス「ツカッテイキ」の開始 (H23.1まで)
平成17年 (2005)	3. 4	地下鉄車両工場がISO14001取得
	3.19	ささしま・名城シャトルバス運行開始(～9.25 まで土・日・休日運行)
	3.25	2005年日本国際博覧会「愛・地球博」開催(～9.25)
	3.26	ものづくりと文化のルートバス運行開始 (～9.25まで土・日・休日運行)
	4. 1	市バス通勤定期券の持参人方式開始 市バス通勤定期券の「ファミリーバス定期」 サービス開始
	5.29	花バス最後の運行(5.26～5.29)
	8. 1	第1期ハッチャーキッズクラブ結成(R5まで)
	10. 6	名城線環状化1周年記念キャンペーン(～10.10)
	11.15	地下鉄駅等職員のサービス介助士資格取得
	11.29	市バスの系統別営業係数のバス停PR
12.21	「AED(自動体外式除細動器)」6台を高畑駅等に配備	
平成18年 (2006)	2. 1	優先席マークの変更と優先席の増設
	3.29	市営交通事業経営改革計画策定
	3.31	市バスダイヤ改正、地域巡回バス停留所の新設等
	4. 1	「なごや乗換ナビ」サービス開始 市バス通勤定期券を全線定期券へ統合、バス 地下鉄全線定期券の値下げ ドニチエコきっぷ、特得60バス定期開始 「こども110番の駅」実施
	4.17	「耳マーク」掲示開始
	6.12	市バス・地下鉄環境家計簿のモニター実施(～7.2)
	9.16	ドニチエコきっぷの事前発売、発売場所の拡充
	11.20	市バス営業所職員等のサービス介助士資格取得

年月日		主要事項
平成19年 (2007)	1.15	市バス車内に筆談具設置
	3.18	鶴舞線開業30周年記念イベントの開催
	3.19	地下鉄ホームのメロディサイン全線導入
	3.27	地下鉄全駅で公衆無線LANサービス開始
	4. 1	大森営業所の管理の委託開始、地下鉄上飯田 線運転業務の委託開始、市バスのダイヤ改正、 「なごや地図ナビ」サービス開始、「会社名等」 で利用できるバス・地下鉄全線定期券の発売
	5.30	交通局OBボランティアの活動開始
	11. 1	地下鉄駅ギャラリーの無料化
	11.11	地下鉄開業50周年記念事業メインイベントの開催
	12. 7	ISO9001の取得(鳴尾営業所、名古屋駅、栄駅) (H24.3まで)
	平成20年 (2008)	2.23
3.18		“ありがとう”宣言
4. 1		市バス通学定期券(中学生以上・4キロ超) を全線化、市バスダイヤ改正
6. 2		東山線女性専用車両の運行時間帯拡大(17 時から21時)
9. 1		早期地震警報システムの地下鉄全路線導入
10. 1	「なごや得ナビ」サービス開始	
平成21年 (2009)	1.29	接客コンクール開催
	3.14	JR南大高駅前広場への市バスの乗り入れ開始
	3.18	名城線・名港線の全駅ホームで発車時刻LED案内開始
	4. 1	浄心営業所の管理の委託開始
	7.29	鶴舞線・名鉄豊田線相互直通運転30周年記念行事
	9.20	桜通線開業20周年記念イベント開催
10. 1	民営バス撤退に伴う守山区上志段味地区への市バス乗り入れ	
10. 3	ドニチエコきっぷ1,000万枚突破	
平成22年 (2010)	3. 1	学生定期券の発売
	3.21	市バス開業80周年感謝祭
	3.31	市営交通事業経営健全化計画の策定
	8. 4	バイオディーゼル燃料バス運行開始
	8.30	地下鉄駅改札外トイレへトイレットペーパー設置
	12. 1	桜通線新型車両へハッチャービジョン(液晶式 車内案内表示装置)設置
平成23年 (2011)	1.22	地下鉄桜通線可動式ホーム柵使用開始式
	2.11	マナカサービス開始、ユリカ販売停止、学生 定期券の値下げ
	2.28	地下鉄桜通線ダイヤ改正
	3.11	東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)発生
	3.27	地下鉄桜通線野並・徳重間(4.2km) 開通 バス路線の再編成及び運行の見直し 駅業務委託開始 (名港線：日比野駅・六番町駅・港区役所駅・築地口駅、 桜通線：鳴子北駅・相生山駅・神沢駅)
	5. 2	西部医療センターの開設に伴う市バスの乗り入れ

年月日		主要事項
平成24年 (2012)	3. 1	ユリカ使用停止
	4. 1	運転指令室を統合 女性用運輸制服等のデザイン変更を実施 野並営業所の管理の委託開始
	4. 21	マナカ・TOICAの乗車券機能の相互利用開始、JR東海との連絡定期券の発売 クレジットカードによる定期券販売開始(市バス・地下鉄のみ)
	8. 1	学生がデザインした「三英傑バス」の運行を開始
	8. 10	広報なごや特集号(エリア別路線図)を名古屋市内の全戸配布
	11. 18	市営交通90周年記念メインイベント
平成25年 (2013)	3. 20	「地下鉄安全ガイドブック」を駅長室等で配布
	3. 23	マナカをはじめ全国10の交通系ICカードの全国相互利用サービス開始
	3. 31	自動車工場閉所
	4. 5	名古屋市立大学に学生がデザインした「マナカ付学生証」の導入
	8. 1	地下鉄鶴舞線・名鉄犬山線相互直通運転20周年記念イベントの実施(～9.1)
	10. 14	駅ちかウォーキング参加者20万人突破セレモニー実施
	12. 20	東山線最終電車延長の試行実施(2回目12.27)
12月	市バス・地下鉄累計乗車人員300億人達成	
平成26年 (2014)	4. 1	浄心営業所楠分所を開所(三重交通管理委託)運転と駅務の兼務化試行実施(東山線運転区:高畑駅) バス運行総合情報システムの更新に合わせ、市バス全車両で緊急地震速報の受信開始
	7. 4	地下鉄東山線の終電時刻延長
	7. 21	駅ちかコンサート開始
	9. 1	消費税率等引上げに伴う市バス・地下鉄の料金改定 「マナーアップトレイン」の運行(～10.31)
	9. 25	名古屋駅 軌道内冠水による東山線の一時、区間運休
	9. 30	自動車運送事業の経営健全化計画完了の報告
	10. 17	姉妹都市とのデザイン交流事業「トリノラッピングバス」の運行(3両・最長6ヵ月間)
	11. 16	名城線環状化10周年記念イベントの開催
	12. 12	交通局発売「マナカ200万枚突破キャンペーン」の実施(～12.31)
	平成27年 (2015)	4. 1
5. 1		運転と駅務の兼務化実施(東山線運転区:岩塚駅、名城線運転区:名古屋駅)
7. 4		レトロでんしゃ館 入館100万人達成
8. 30		東山線5000形車両引退記念イベント(ラストラン)の開催
9. 7		地下鉄東山線可動式ホーム柵使用開始式
10. 3		ナゴヤ・パフォーマー事業 「Nagoya POP UP ARTIST」開始
10. 3		駅ちかウォーキング参加者30万人突破セレモニー実施
10. 24		駅ちかウォーキング通算開催100回達成
11. 16		「名古屋市営交通事業経営計画(2015-2018)」の策定
11. 21		地下鉄駅(85駅)に無料公衆無線LAN「NAGOYA Free Wi-Fi」を整備完了
12. 1		市バス・地下鉄の優先席付近における携帯電話使用マナーの変更
12. 4		鉄道駅から離れた市周辺部における最終バス時刻の延長の試行実施

年月日		主要事項	
平成28年 (2016)	2. 24	複数面のデジタルサイネージによる「名古屋駅スクエアビジョン広告」の運用開始	
	3. 16	交通局公式ウェブサイトのリニューアル	
	4. 1	市バスの運行支援システム全車運用開始 駅業務委託開始(東山線:八田駅・中村公園駅・中村日赤駅・本陣駅・亀島駅) 精神障害者への割引料金の適用 なごや市バス・地下鉄応援寄附金の募集開始	
	5. 1	地下鉄名古屋駅におけるコンシェルジュの配置	
	7. 1	東山線の一部ワンマン運転化の実施 運転と駅務の兼務化実施(東山線運転区:池下駅・星ヶ丘駅・藤が丘駅) 英語版「なごや得ナビ」冊子の発行	
	7. 4	女性専用車両の路線拡大(名城線・名港線、平日の始発から午前9時まで)	
	9. 1	敬老バス、福祉特別乗車券(児童福祉施設入所児童等)のICカード化	
	11. 1	福祉特別乗車券(身体・知的・精神障害者等)のICカード化	
	12. 2	鉄道駅から離れた市周辺部における最終バス時刻の延長の本格実施	
	平成29年 (2017)	2. 14	ハート型つり革をつけた「ハート♡バス」の運行(～30.2.14)(2.11 プレイベント実施)
		3. 1	市バス「黒川11系統(黒川～北部市場)」を県営名古屋空港まで延伸する社会実験
		3. 31	市バス全車両ノンステップバス化
4. 1		名古屋駅バスターミナルへの市バスの乗入れ及び都心ループバスの大須地区への延伸	
5. 20		駅ちかウォーキング参加者40万人突破セレモニー実施	
7. 1		東山線の完全ワンマン化実施	
7. 1		運転と駅務の兼務化実施(名城線運転区:ナゴヤドーム前矢田駅、鶴舞線運転区:赤池駅)	
8. 2		IC敬老バス更新事務の受託業務開始	
10. 1		1日乗車券の紙券化	
11. 1		優先席付近へのヘルプマークステッカーの掲出	
11. 5		地下鉄開業60周年記念メインイベントin 藤が丘工場の実施	
平成30年 (2018)	1. 4	平針運転免許試験場建替え工事による市バスの増強運行	
	3. 14	地下鉄にてマナカのオートチャージサービス開始	
	3. 26	名古屋ことばによる駅構内放送 名古屋城をモチーフにした市役所駅の装飾	
	4. 14	体験型謎解きゲームの開催(～30.9.2)	
	5. 1	同伴幼児の無料人数を保護者1人につき2人から4人へ拡大	
	7. 1	運転と駅務の兼務化実施(名城線運転区:砂田橋駅、桜通線運転区:中村区役所駅)	
10. 16	新たな市バス・地下鉄乗車マナー啓発ポスター～あなたとわたしでほっこり乗ろう～の掲出開始		
平成31年 (2019)	2. 12	市バス港明営業所の開所	
	3. 25	「茶漬水南バスターミナル」の閉鎖に伴うバス停の移転	
	3. 28	「名古屋市営交通事業経営計画2023」の策定	
	4. 1	運転と駅務の兼務化実施(名城線運転区:瑞穂運動場東駅、鶴舞線運転区:庄内緑地公園駅)	
	4. 22	交通局公式Instagram、Facebookの開始	
令和元年	5. 27	地下鉄全線24時間券の発売、地下鉄一日乗車券の販売終了	
	10. 1	消費税率等引上げに伴う市バス・地下鉄の料金改定	
	11. 2	市バス90周年記念イベントの開催	
	12. 11	駅ナカ商業施設「ヨリマチFUSHIMI」開業	

年月日		主要事項
令和2年 (2020)	5.25	地下鉄名城線・名港線可動式ホーム柵稼働
	7.21	地下鉄マナー啓発ポスター作品募集
	8.31	新しい生活様式に対応したウォーキング開催
	10.17	バス運転士（大型二種免許未取得者対象）採用選考（一次）の実施
	11. 1	地下鉄マナー啓発ポスター入選作品を展示した電車の運行及び入選作品の駅への展示
	11.16	名古屋市観光周遊セット券の発売
	11.30	マナカ10周年ありが10(とう)キャンペーン実施
	12.24	幸せを呼ぶ黄色い地下鉄「イエロートレイン」運行
令和3年 (2021)	3.25	名古屋市交通局採用サイト（バス運転士 地下鉄駅務員 技術員）の開設
	3.27	市バス・地下鉄車両に抗ウイルス加工の実施
	4. 1	市バス沿線フォトコンテストの開催（千種・昭和区編）
	7. 1	運転と駅務の兼務化実施（名城線運転区：平安通駅、鶴舞線運転区：浄心駅、桜通線運転区：野並駅）
	7.19	市営交通100周年記念事業の愛称 キャッチコピー ロゴマークを公表
	8. 1	100年祭サイト・Twitterを開設 100周年PR動画・オンライン仕事見学を公開 仕事紹介ポスターを掲出
	8.15	駅職員が「鯨の大祭典（名古屋グランパス）・市営交通100周年コラボTシャツ」を着用
	8.22	オンラインイベント「まるごと名古屋の交通局」を開催
令和4年 (2022)	2.15	クレジットカード対応券売機を導入
	4. 1	特得60バス定期の制度変更
	4. 2	高速1系統の廃止
	4.11	ウィンザーイエローを再び！『黄電復活』応援プロジェクトクラウドファンディングの実施（～6.30）
	7. 1	運転と駅務の兼務化実施（名城線運転区：市役所駅、新瑞橋駅、鶴舞線運転区：丸の内駅、桜通線運転区：徳重駅）
	7. 6	市バス・地下鉄職員が「市営交通100周年×名古屋グランパスクラブ30周年コラボポロシャツ」を着用
	7.11	昭和にタイムスリップ!? 復刻デザイン『レトロカラーバス』応援プロジェクトクラウドファンディングの実施（～9.30）
	8. 1	市営交通100周年「黄電メモリアルメモリアルトレイン」（東山線）運行開始（～5.1.22）（名城線は8.8開始（～5.1.29）） 市営交通100年祭お誕生日会の開催
	9.17	地下鉄東山線ダイヤ改正
	10.27	名古屋駅、栄駅、市役所駅にレゴ®ブロックで製作した地下鉄案内図の設置（東山公園駅は12.5に設置）
	11.12	市営交通100年祭メインイベント『100YEARS FESTIVAL!!』開催 名古屋市交通局ロゴマークの制定
	11.13	「レトロカラーバス」運行開始（運行終了はバス車両で異なる）
	12. 1	制服の変更

年月日		主要事項
令和5年 (2023)	1. 4	中村区役所を太閤通に、市役所を名古屋城に、伝馬町を熱田神宮伝馬町に、神宮西を熱田神宮西に駅名変更
	3.14	名古屋駅・栄駅・金山駅に旅行者向け券売機を導入
	3.17	名古屋市立大学と包括連携協定の締結
	3.25	東山線1編成へ車内デジタルサイネージ広告の設置（順次残りの20編成へ設置）
	4. 1	運転と駅務の兼務化実施（名城線運転区：大曾根駅、桜通線運転区：桜山駅） 燃料電池バス基幹1系統運行開始（試行導入）
	7. 1	マナカマイレージポイントの制度変更
	9. 8	市バス・地下鉄101か所スタンプラリー開催
	9.16	アクティブシニアキャンペーン開催 地下鉄桜通線ダイヤ改正
	9.26	地下鉄金山駅に簡易型ベビーケアルームを設置
令和6年 (2024)	3. 1	地下鉄名古屋駅、栄駅、金山駅に地下鉄運行情報提供大型モニターを導入
	3.16	地下鉄鶴舞線及び上飯田線のダイヤ改正
	3.25	「名古屋市営交通事業経営計画2028」策定
	4. 1	東山線N1000形21編成で「ナゴヤサブウェイビジョン」による広告放映開始
	6. 1	スマホでウォークスタンプラリー開催
	7.12	「市バスでPetit旅」開催
	8. 1	「やみつきなごめしきつぷ」発売
	10.14	地下鉄鶴舞線可動式ホーム柵稼働
	12.13	「名城線環状化20周年記念スタンプラリー」開催
令和7年 (2025)	1.22	「なごやヒストリカルウォーク」実施
	2.12	子ども向け特設ウェブサイト「ハッチーキッズサイト」開設
	3.29	地下鉄東山線のダイヤ改正
	3.31	市営交通資料センター閉館
	7. 1	バス運転士採用選考（大型第二種免許未取得者対象（養成型））の実施
	8.14	レトロでんしゃ館 入館150万人達成
	9.29	地下鉄名城線・名港線のダイヤ改正
	11. 1	地下鉄栄駅でベビーカーレンタルサービスを開始（試行導入）
令和8年 (2026)	3.25	交通局公式ウェブサイトのリニューアル
	3.25	電気バス神宮12系統運行開始